



ちさと

NPO法人 千葉性暴力被害支援センターちさと
Chiba Support Center for Sexual Assault (Chissat)

第13回
実践編

公開講座 ～若年・子どもへの性暴力への理解～

トラウマをどう生きのびるのか 大きく見える問題は小さな問題の集まりだった

なんとかなるさ! ダルク女性ハウスの実践から考える
サバイバーとの対談あり

日時

2025・**11/23** (日・祝) **13:30~15:30**

参加費

1,000円

定員

60名

会場

ZOOM によるオンラインセミナー

講師

上岡 陽江さん ダルク女性ハウス 理事・精神保健福祉士

10代から処方薬依存・摂食障害・アルコール依存を経験し、20代半ばで回復プログラムにつながる。1991年に薬物・アルコール依存をもつ女性をサポートするダルク女性ハウスを設立。依存症の母親とその子どものための包括的な支援に注力。当事者への支援に加え、援助職者のための研修、グループワーク、スーパーバイジングなどにも従事。2018年より、東京大学熊谷晋一郎研究室にて協力研究員として、当事者研究事業に参加。2016年4月、国連麻薬特別総会(UNGASS)に政府代表団顧問として参加している。弟の上岡裕とも協力し、ハームリダクション東京の活動を進めている。



本講座は性暴力被害支援者養成講座(入門編)を終了した方が対象となっていますが、講座の一部を公開講座として一般の方も参加出来るようにしました。皆様と理解を深める機会にしたいと思います。

申し込み方法
締切 11月20日(木)

参加ご希望の方は、①氏名(フリガナ)②職業・職種など③郵便番号・住所④電話番号⑤メールアドレス⑥受講動機(50文字以内)を明記の上、下記のグーグルフォームにてお申し込みください。

お申し込み
グーグルフォーム
QRコード



受講の可否は、締切後までにメールでします。受講希望者が多数の場合はお断りする場合もございますので、ご承知おきください。
メールでお伝えする口座へ参加費をお振込みください。入金を以って参加決定といたします。振込後の返金は、原則として致しませんのでご了承ください。

メール

chissat@kjc.biglobe.ne.jp

★「女性に対する暴力をなくす運動」の一環として行います★

後援 千葉県・千葉市

ちさと支援員へのお誘い

性暴力（不同意性交、DV、性虐待など）は、心身と人権を踏みにじる犯罪です。「ちさと」は性暴力被害に遭った女性の立場に立って支援し、心身の回復をサポートし、希望に沿った加害者処罰のお手伝い、ひいては性暴力の根絶を目標にしています。

性暴力の被害者の負担を減らし、医療・心理・警察・検察・裁判所などとの連絡がなるべく一箇所でスムーズにできるシステムを「病院拠点型ワンストップ支援センター」といい、千葉県内では2014年4月から「ちさと」が支援活動を開始しました。医療や心理といった専門的な背景がなくても、被害者の気持ちに寄り添い、性暴力被害者支援のために必要な知識とスキルを身に付け、この活動にご自分の時間を提供して頂ける女性を募集いたします。

ちさととは、国立病院機構千葉医療センターの協力を得て活動する病院拠点型の性暴力被害者支援ワンストップセンターです。

受講者の入門編・応用編の継続講習・レポート・面接等を通して支援員に採用いたします。

「性暴力被害支援センターちさと」において支援員として活動する事を希望される方へ

「入門編」を受講後、「実践編」講座（11月23日公開講座含む）12月・1月・2月に各月1日全出席のこと。（うち2日は医療センター見学を予定しています。）

実践編の日程	11月23日（日・祝）	12:00～12:30（オープニング）
		12:30～13:30（昼食）
		13:30～16:00（公開講座）
		16:00～17:00（クロージング・振り返り）
	12月20日（土）	10:00～17:00
令和8年	1月17日（土）	10:00～17:00
	2月7日（土）	10:00～17:00

★参加費 5,000 円予定 2コマ以上欠席された方は要レポート。

★実践編では、座学の他にロールプレイ、グループワーク、ソマティックアプローチ他を体験学習し、2月末～3月初旬に、採用面接の上、採用を決定します。
令和8年4月より、はれて現場での実施研修スタートとなります。

〔連絡先・お問合せ〕

NPO 法人千葉性暴力被害支援センター ちさと

千葉市中央区椿森 4-1-2 国立病院機構千葉医療センター内

E-mail chissat@kjc.biglobe.ne.jp

TEL 043-445-8883